







財団法人 日本医療機能評価機構認定病院

光仁会 梶川病院 グループ 広報誌

- ●医療法人 社団 光仁会の理念 『光仁会は 地域の人々の健康と幸せに貢献し あわせて働く人達の健康と幸せを追求します』
- ●医療法人 社団 光仁会の基本方針 「地域包括ケア」「医療療養」「透析医療」を三本の柱とし 予防・治療・在宅まで切れ目のない医療を提供し 地域医療に貢献します

2022年 夏号



- ●部署紹介:地域包括ケア病棟(一病棟)
- ●光仁会 梶川病院トピックス

特集:食中毒にご注意を!

●新型コロナウイルス感染症への対応について



部署紹介 地域包括ケア病棟(一病棟)

「地域包括ケア病棟」は、急性期の治療は終わったが自宅退院に不安がある方、在宅復帰に向けてリハビリテーションが必要な方、肺炎など外来からの入院治療が必要な方、レスパイト入院(介護疲れや一時的に自宅療養が困難になった際の入院)を必要とされる方などを主な対象とした病棟で、その入院期限は60日と定められています。当院の一病棟はその中でも、在宅へ復帰された患者さんの割合が72.5%以上必要とされるなど最も要件の厳しい「地域包括ケア病棟入院料1」で運営しております。

主に内科、外科、整形外科、泌尿器科、血液透析が必要な方が入院されており、患者さんがまた安心して在宅へ戻れるよう、多職種で協同しながらケアを行っています。

コロナ禍での地域包括ケア病棟の取り組み

今、病棟の廊下の壁などに季節に合わせた飾りをしています。これは、入院中に外部との交流が難しくなった患者さんに少しでも季節が感じられるように、また、感染対策のためにリハビリ室に行けずに病棟でリハビリをしている患者さんが少しでも楽しくリハビリできるように、と始めたものです。患者さんと病棟スタッフが各月のテーマに沿って、一緒に折り紙や画用紙を使って壁飾りを作成しますが、作成中に季節の話や昔の話など様々なお話を聞くことができます。

壁飾りが完成すると「見に行ってみようか」「また、次の展示会も楽しみにしとるよ」と嬉しい声を聞くことができました。

ベッド上で横になりがちだった 患者Aさんが4月の桜の飾りを見 た時には、「今は桜が咲いとるんじ ゃね。リハビリの先生と見に行こ う」とおっしゃり、歩行しよう!という 意欲の向上に繋がりました。



リハビリも兼ねて、患者さんとスタッフが共同で作成します



病棟スタッフがテレビ電話に付き添って対応します

また、入院中の患者さんとご家族が面会できない状況を少しでも緩和するために、タブレットを使ってテレビ電話面会を行っています。

「家族に会いたい、帰りたい」という思いが強く入院をとても苦痛に思われる患者さんもいらっしゃるので、ご家族の顔を見て声を聴くことで、安心して入院生活を送ってもらえるように努めております。

テレビ電話面会中が「一日で一番穏やか」という患者さんもいらっしゃいます。



光仁会 梶川病院トピックス

2022年4月1日 新任医師のご紹介

血液内科部長 岩戸 康治(いわと こうじ)

血液内科 外来診療(火曜日AM、金曜日PM)



血液内科一般ですが、貧血、 多血症、血小板増多症、血小 板減少症などを特に専門に しています。

血液内科の岩戸康治(いわと こうじ)と申します。約29年間に渡り、広島赤十字・原爆病院 血液内科の外来で多くの紹介患者さんの初期対応を行ってまいりました。

近年は、白血球や血小板の増加や減少、赤血球の増加(多血)や貧血など健康診断で異常を指摘され、一日がかりで専門病院を受診されることも少なくありません。検査で異常を指摘されたけど、恐ろしい血液の病気だったらどうしよう、急いで専門病院を受診する必要があるのだろうか?など心配のある方は、長年の経験を生かした適切な対応をいたしますのでお気軽にご相談いただければと思います。専門的診療が必要な場合には、太いパイプを最大限に活用し、日赤病院などに迅速な紹介も可能です。

街の血液内科医として、これからどうぞよろしくお願いいたします。

2022年4月1日 入職式を行いました



新入職員の皆さんは緊張しながらの撮影でした

医療法人社団光仁会の入職式を行い、梶川病院には医師1名、看護職3名、リハビリ職2名、放射線技師1名、歯科衛生士1名の計8名が新たに配属されました。

新戦力も加わった新たな 布陣で、患者・家族様ならび に各医療機関様のご期待に お応えすべく、医療サービス をより一層向上させて参りま す。

特集 食中毒にご注意を!

食中毒患者さんの外来受診が増えてくる時期になりました。

食中毒の原因は様々で、ウイルス、細菌、動物性自然毒、植物性自然毒、化学物質、寄生虫など多岐に渡ります。食中毒の原因によって、その症状や発症するまでの時間もさまざまです。下痢、腹痛、発熱、嘔吐などの症状が多いですが、時には命にかかわる事もあり、決して油断はできません。

今回は、入院患者さんの食事に関わる管理栄養士から、代表的な食中毒と予防方法をお伝えします。

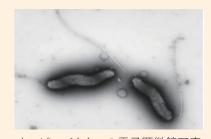


当院の管理栄養士です

■カンピロバクター

6~9月は湿度や気温が高く細菌が増殖しやすいですが、例年 この時期に多く発生する食中毒の原因で代表的なものは、カンピ ロバクターです。令和3年の全国の食中毒発生717件のうち、154 件を占めています。

カンピロバクターは鶏や牛・豚などの家畜の腸内に存在しており、犬や猫などのペットや野生動物などが保菌している場合もあります。冷凍・冷蔵庫の中でも長期的に生存しますが、乾燥・加熱には弱く、通常の加熱処理で死滅します。



カンピロバクターの電子顕微鏡写真 (厚生労働省HPより)

原因の食品としては、市販の鶏肉の汚染率が高いため鶏肉からの食中毒が多く、鶏肉の刺身や 牛の生レバー、肉の生焼けなどがあげられます。他にも、生肉を触った手や調理器具からの汚染、 飲料水で感染することもあります。

潜伏期間は2~7日間で、少ない菌量でも食中毒を起こします。症状は腹痛・下痢・発熱・吐き気などがあり、重症の場合はギラン・バレー症候群(感染後数週間たってから手足の麻痺や顔面神経の麻痺、呼吸困難などの症状が出るなど)を引き起こすことがあります。

【カンピロバクターを予防するためのポイント】

- ①**正しい手洗い** 肉を触った後は石けんを使い、しっかりと手を洗う。
- ②器具は使い分ける 肉類専用のまな板や包丁を準備し、焼肉やバーベキューの際は 生肉専用の箸やトングを用意する。
- **③中心部まで加熱する** 肉類は中心部までしっかりと(85°C以上で90秒以上)火を通す。
- **④洗浄・消毒する** 器具は洗浄後、熱湯や漂白剤で消毒を行い、よく乾燥させる。肉類が新鮮だから安心という訳ではないので、しっかりと火の通った料理を食べるようにする。

■食中毒予防は『付けない・増やさない・やっつける』

食中毒は、その原因となる細菌やウイルスが食べ物に付着し、体内へ侵入することによって発生します。食中毒を防ぐためには、細菌の場合は、細菌を食べ物に「付けない」、食べ物に付着した細菌を「増やさない」、食べ物や調理器具に付着した細菌を「やっつける」という3つが原則となります。1010に注意することで、食中毒は防ぐことができます。予防をしっかり行い、家庭から食中毒をなくしましょう!

- ◆料理の前、食肉・魚・卵を取り扱う前後はしっかりと手を洗う。
- ◆器具を使い分ける。
- ◆生鮮食品は新鮮なものを購入し、冷蔵や冷凍の必要な食品はすぐに収納する。詰め込み過ぎには注意!
- ◆肉や魚はビニル袋や容器に入れ、冷蔵庫内の他の食品に肉汁などがかからないようにする。
- ◆加熱して調理する食品は十分に加熱を行う。目安は85°C以上で90秒以上。料理を途中でやめてそのまま室温に放置すると、食品に細菌が付いたり増えたりするため、途中でやめる時は冷蔵庫で保管する。再び調理をするときは十分に加熱する。
- ◆食事をする前には手をしっかり洗う。
- ◆温かい料理は温かく、冷たい料理は冷たくしておく。
- ◆菌が増殖する原因となるため、調理前の食品、調理後の食品は室温に長く放置しない。
- ◆時間が立ち過ぎたら思い切って捨てる。少しでも怪しいと思ったら、食べるのはやめる。

■安全・安心な食事を提供しています!

体力の落ちている入院患者さんに提供する食事には、当然ながら食中毒があってはなりません。厨房では、HACCP(Hazard Analysis and Critical Control Point)に沿った衛生管理、確実な対策を毎日継続する事により、患者さんに安全・安心な食事を提供しています。



手洗いは基本中の基本です



ローラーで付着物を取り除きます



食品の中心温度を確認します



食品に合わせて器具を使い分けます



包丁・まな板も全て使い分けます

新型コロナウイルス感染症への対応について

新型コロナワクチンの3回目接種が終了しました

当院では2021年4月から、かかりつけの患者さんを中心に新型コロナワクチンの接種を行って参りましたが、5月末をもちまして、当院での3回目接種が終了となりました。

ワクチン在庫の使用期限や接種の時間など、皆様にはご不便ご迷惑をおかけいたしましたが、かかりつけ患者さんをはじめ、地域の皆様など多くの方々にご協力をいただき、無事終了する事ができました。

1回目から3回目までの接種を合計すると、延べ3000人以上の方にワクチンを接種することができました。



案内表示



ワクチン管理が重要です



ワクチン接種の様子

発熱患者さんへの対応について

当院では、発熱や風邪症状で感染症が疑われる患者さんへ対応するため、PCR検査機器を備えると共に専用の「第4診察室」を設け、出来るだけスムーズにお受け入れができるように準備をしております。

発熱外来をご希望の際には、まず受付まで 電話でお問い合わせをお願いいたします。日 時により、対応できる人数や検査の回数に制 限があり、お問い合わせ無く外来受付に来ら れると、対応ができない場合もございます。

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



第4診察室の内観



外来担当医師紹介



院長 すえまる なおこ 末丸 直子 内科 《外来診察日》 月・木・金曜日



血液内科部長 いわと こうじ 岩戸 康治 血液内科 《外来診察日》 火・金曜日



なかはら みつる 中原 満 非常勤 泌尿器科 《外来診察日》

火曜日

くしはた



串畑 重行
非常勤 内科·禁煙外来
・<mark>頭痛外来 〜</mark>
《外来診察日》
水曜日

しげゆき



副院長 くめ たかし **久米 隆** 泌尿器科 《外来診察日》 月・水(隔週)・ホ・金曜日



ひのい としひで **檜井 俊英** 内科・循環器科・禁煙外来 《外来診察日》 火・金・土曜日



かわさき まみ 川崎 真実 非常勤 泌尿器科 《外来診察日》 水曜日(隔週)



副院長 あさみ よしあき **浅海 良昭** 外科·内科 《外来診察日》 月·火·木曜日



はらだ ひとし 原田 仁 非常勤 整形外科 《外来診察日》 月・木曜日



ほうさい みか 法西 美果 非常勤 総合診療科 《外来診察日》 水曜日



毎週水曜日に内科と禁煙外来を担当しておりますが、新たに <mark>頭痛外来</mark>の診療も担当させていただきます。 どうぞお気軽にご相談ください。



外来診療 予定表

診療時間

午前 9:00~13:00

・受付は12:30まで

・リハビリ受付は12:00まで

午後 14:00~18:00

・受付は17:30まで

・リハビリ受付は17:00まで

休診日

土曜日午後 日曜日・祝祭日 8月14~16日 12月30日~1月3日

※ 令和4年4月18 日現在

※ 赤字は、4月より新しく始まった 外来です

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	末丸直子 (9時半から)	浅海良昭	串畑重行 ※禁煙外来 ※頭痛外来	末丸直子	末丸直子	檜井俊英 ※禁煙外来
	午後	浅海良昭		檜井俊英 ※禁煙外来	浅海良昭	檜井俊英 ※禁煙外来	
外科	午前		浅海良昭				
	午後	浅海良昭			浅海良昭		
泌尿器科	午前	久米隆	中原満	久米隆/川﨑真実 (週交代)	久米隆	久米隆	広大泌尿器科
	午後	久米隆	中原満	久米隆/川﨑真実 (週交代)		久米隆	
血液内科	午前		岩戸康治				
	午後					岩戸康治	
循環器科	午前						檜井俊英
	午後		檜井俊英			檜井俊英	
整形外科	午前	原田仁			原田仁		
	午後	原田仁 (15時から)					
総合診療科	午前						
	午後			法西美果			

病院概要

名 称 医療法人社団光仁会 梶川病院

所 在 地 〒733-0022 広島市西区天満町8番7号

電 話 082-231-1131 (代表)

F A X 082-231-8866 (代表)

U R L http://www.kajikawa.or.jp

開 設 1980年5月(昭和55年)

院 長 末丸 直子

診療科目 内科·外科·泌尿器科·整形外科·循環器科

肛門科・放射線科・リハビリテーション科

人工诱析内科·神経内科·血液内科

病 床 数 88床

(地域包括ケア病棟48床、医療療養病棟40床)

基 準 地域包括ケア病棟1

療養病棟入院基本料1(在宅復帰機能強化加算)

併 設 通所リハビリテーションすみれ(定員40名)

主な設備 オープンタイプ型MRI

16列マルチスライスCT

高精度デジタルX線透視装置 等

光仁会 梶川病院は、地域の在宅医療を支える病院です

透析を含む一般内科・ 外科・泌尿器科を中心と した治療を行っています 個々に応じたリハビリを 行い、在宅・社会復帰に 向けたきめ細かな支援に 力を入れています

人工透析をされている、 もしくは導入予定の方は、 退院後も外来透析が可能です (フェニックスクリニックにて実施) 各部署が連携をとりながら 情報を共有し、患者さんひとり ひとりに合った医療・介護を 提供するよう心がけています

周辺案内図





財団法人 日本医療機能評価機構認定病院

光仁会 梶川病院

内科/外科/泌尿器科/整形外科/循環器科/肛門科/放射線科/ リハビリテーション科/人工透析内科/神経内科/血液内科 発行:医療法人社団光仁会 梶川病院 編集·文責:地域医療連携室

〒733-0022 広島市西区天満町8-7 TEL(082)231-1131(代) FAX(082)-231-8866(代) http://www.kajikawa.or.jp